

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	観光型ホテル （営業担当）	販売量の動き	・客室単価、客数が好転している。例年この時期に多かった卒業旅行の学生の数が減り、一般の客が増え、その分付帯の売上が良い。
	やや良く なっている	その他のサービス [レンタ カー]（営業担 当）	来客数の動き	・3月は、大学生の卒業旅行等のレンタカー利用が年々増加傾向にあり、今月も好調に推移している。
	変わらない	一般小売店 [衣 料品・雑貨] （経営者）	販売量の動き	・3月の売上高は前年同月比86%と数か月間マイナス傾向が続いている。3月は年間を通して売上期待できる月だが、なかなか回復しない。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・客数が前年より減少しているが、客単価は前年よりは良いので、今のところどうにかなっている。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・衝動買いやプラス1品を控えている傾向は続いている。買上点数や客単価の推移が前年同様というも裏付けとなっている。また客の視線もシビアで、値頃感のない商品は売れない。
		衣料専門店（経 営者）	来客数の動き	・当店の商店街（通り）に人が歩かなくなっている。もう3月の末にきているというのに活気が余り無いといった印象である。早く夏になってほしい。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・沖縄観光は平成19年10月以降弱含みの状況にあったが、3月には回復の状況が見られる。当施設の利用者数は、3か月前の平成19年12月は前年同月比で104.5%、今月は3月27日現在で104.9%と同程度の伸びとなっている。3月の沖縄への入域観光客数も前年同月を越えると予想される。来園者は、一般団体、家族連れ等が中心である。
	やや悪く なっている	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・特に北部観光等の、無駄な外出を県民が控えている感じがする。観光導線における売上伸張がみえてこない。
		その他専門店 [書籍]（店 長）	お客様の様子	・3月は書店は繁盛期であるにもかかわらず、例年と比べると売行きがかなり鈍い。卒業祝いや入学祝いに書籍や文具などをプレゼントする人が減っている。
		その他飲食 [居 酒屋]（経営 者）	それ以外	・入客は観光客を中心にほぼ例年並みに戻ったが、原材料費の値上がり止まらず、利益率が下がっている。
通信会社（店 長）		販売量の動き	・3月は需要期にもかかわらず、前年に比べると3割程度販売数が低くなっている。	
通信会社（店 長）		来客数の動き	・例年より来客数が減少している。携帯電話の需要が飽和状態に近づいていることに起因する。	
ゴルフ場（経営 者）		単価の動き	・客単価の低下現象がみられる。これは基本的には外資系のゴルフ場が非常に安い単価で集客を図っていることの影響である。	
悪く なっている	百貨店（担当 者）	販売量の動き	・気温の低下等の天候不良の影響が大きい。春先のモチベーションの動向も悪く、春休み入りと同時に開催した販売企画も前年比2%減と厳しい結果である。特に衣料部門の苦戦が顕著で、婦人服部門は前年比10~13%減と悪化しており、天候と件以外の影響も大きい。原油高騰、小麦等販売価格の上昇を初め、生活防衛感の高まりを感じさせる。	
	その他専門店 [楽器]（経営 者）	販売量の動き	・前年と比較すると毎月、売上が減少している。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	輸送業（代表 者）	受注量や販売量 の動き	・改正建築基準法の移行問題は、根本的に解決されていないが、遅れていた公共工事の土木関連を中心に工事が動き出し、生コンやアスファルト用の砂及び碎石の受注が出てきている。
	変わらない	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・3か月前と同じく、引き合い件数が鈍い。
輸送業（営業担 当）		受注量や販売量 の動き	・本土企業の県内進出が若干増えており、それに伴う物流は増えているが薄利である。	

		会計事務所（所長）	それ以外	・クライアントから、客数の増加傾向はあるが、客単価が厳しい状況であり収支は厳しいとの声を耳にする。
	やや悪くなっている	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べて商談がスムーズに成立しない。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今月に入り新規の依頼が続き、若干のミスマッチはあったものの契約・稼動につながっている。また依頼の内容は新しく支店開設や業務拡大ということで、前向きな業務である。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・平成20年2月の新規求人数は3,196人で前年同月比10.1%減少、常用求人数は2,757人で前年同月比13.9%減少している。また、新規求職者数は4,386人で前年同月比1.7%減少、常用求職者数は4,278人で2.1%減少している。就職率は前年同月比で3.5%増加している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・県内外の企業より求人を頂いているが、求人数は横ばい傾向である。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・県外の求人がおう盛であるのに比べて、県内の求人の勢いが前年に比べて弱い。また、県内企業の求人が年度変わりのため、これからの動向をみなければよく分からない。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数の減少が目立っている。円高、原油高諸々の要素が背景にあるのか、製造業の生産が下降気味である。
	悪くなっている	-	-	-